

自分たちのまちは、自分たちでつくろう！

# 地域ぶんけんくれは

くれは地域コミュニティ推進協議会

平成27年  
10月号

\* No. 8 \*

呉服小学校区エリア 室町 桃園 姫室 呉服北 呉服南 満寿美 宇保八王寺 アルビス池田



(くれはちゃん)

備えよ  
常に！



## 呉服校区

一般の方誰でも参加できます。

# 総合防災訓練を 実施します。



と き：10月25日(日) 午前9時より開始  
と ころ：呉服小学校グラウンド



日本はいつ・どこで集中豪雨や地震が起きても不思議ではない国です。南海トラフを震源とする巨大地震の発生が心配されます。

いざと言うとき、あわてずに行動出来る心構えとして防災訓練はとて有効です。ぜひご参加下さい。参加者には防災グッズを用意しています。

\*当日の詳細は各自主防災会から事前に連絡致します。

【訓練内容】 避難誘導訓練 119番通報訓練 簡易担架の作り方と救出訓練  
AED取扱い訓練 耐震診断訓練 避難所作り訓練

# くれはまつり のご案内

と き：10月31日(土) 午前9時～午後3時  
と ころ：呉服小学校グラウンド

今年もくれは地域コミュニティ推進協議会・呉服小学校PTAが  
合同で開催します。いつもの催しの他に大ステージでは盛り沢山のイ  
ベントがあります。屋台も一杯出るよ！大人も子ども楽しみましょう！  
詳細はポスター・ちらしでお知らせします。

**役員が新しくなりました。  
協議会も8年を経て気持ちも  
新たに、役員一同協力し頑張ります。**



青井 会長



成田 副会長



瀬島 副会長



中岡 副会長



西中 副会長



西田 副会長



荒木 相談役



林 相談役

**くれは地域コミュニティ推進協議会の役員**

(略：くれはコミ協)

会長	青井 秀浩	会計	安田 禮子	監事	今井 徹
副会長	成田 淳一			監事	田中 範子
副会長	瀬島 康友	相談役	林 克彦		
副会長	中岡 嘉弘	相談役	荒木 那彦		
副会長	西中 義弘	書記	乾 禎則		
副会長	西田 啓輔	書記	伊勢 睦子		

\*青パト隊長  
今井 徹

総務部 部会長	中岡 嘉弘	副部会長	上田 滉・佐々木喜美
福祉部 部会長	小澤 淳子	副部会長	東山 正子・大西喜久子
教育文化部 部会長	中野 正人	副部会長	谷口 徹・伊勢 睦子
環境防犯部 部会長	今井 徹	副部会長	西本 秀一

## 26年度(平成26年4月～ 27年3月)の実施した事業

- \*くれはコミ協の「掲示板」の設置
- \*桃園公園整備事業
- \*水路安全柵整備事業
- \*道路安全対策事業
- \*街路灯強化事業
- \*呉服小学校吹奏楽の楽器購入支援
- \*地域コミュニティ広報誌の発行配布
- \*呉服会館内の推進協議会拠点の管理運営事業
- \*総合防災訓練事業の実施
- \*青パト隊パトロール活動事業支援
- \*「くれはまつり」の共催事業
- \*呉服小学校花いっぱい運動への支援
- \*交通安全啓発事業
- \*グラウンドゴルフ大会の開催
- \*MTPフェスティバル事業の支援
- \*市民レクリエーション開催の支援



「くれはまつり」の共催事業



防災訓練



道路安全対策事業



分権会議

## 27年度(平成27年4月～ 28年3月)の実施予定事業

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| ●道路安全対策事業(カーブミラー設置・暗渠の整備) | ●「くれはまつり」の開催事業        |
| ●呉服小学校吹奏楽の楽器購入支援          | ●呉服小学校花いっぱい運動への支援     |
| ●地域コミュニティ広報誌の発行配布         | ●子育て支援事業              |
| ●呉服会館内の協議会拠点の管理運営事業       | ●グラウンドゴルフ&ウオークラリーへの支援 |
| ●共同利用施設の備品の購入             | ●MTPフェスティバル事業の支援      |
| ●総合防災訓練事業の実施              | ●市民レクリエーション開催の支援      |
| ●青パト隊パトロール活動事業支援          |                       |

## 猪名川にまつわる歴史のお話

猪名川の清流と五月山の緑は、池田に豊かな自然を与えてくれています。

猪名川は川辺郡猪名川町と篠山市との境界にある「大野山」(753m)を源流として槻並川・阿古谷川・野尻川の流れを合わせて多田盆地に入ります。そして一庫大路次川・余野川などの支流と合流して尼崎戸ノ内町で神崎川と合流する所までの43.5kmを猪名川と呼びます。川辺に阿我奈賀(あがなが)が住んでいたのが訛って「いながわ」となったと伝えられています。流域の北田原に溪谷美で有名な「屏風岩」があります。北攝随一の名勝地として知られ平安中期の花山法皇も訪れ称賛した記録があります。この一帯には銀・銅の鉱脈があって多田銀山と呼ばれて秀吉の財政を潤していました。源満仲も銀・銅の採掘を目的に多田に来たとも言われています。源満仲が住吉神社に参った夜、夢に住吉大神が現れ「白羽の鎗矢を空に向け射よ、その矢が落ちた所を尋ねて住むべし」と告げられ多田庄に来ました。矢の落ちた場所は現在も地名として「矢問」(矢当)があります。近くには湖があり、頭が九つある大蛇が二匹棲んでいました白髪の老人が銀の矢を差し出してこの蛇を退治するように告げて消えました。満仲はこの矢を放ち一匹の大蛇の目を貫き湖水を真っ赤に染めて死に、あとの一匹は瀕死の重傷で鼓ヶ滝を蹴破り湖を決壊させて下流に逃れ小戸で死んだとも池田で息絶えたとも言われ、東多田の九頭大明神・小戸神社の白龍

稲荷・建石の九頭龍稲荷として祀られています。洪水の水は滝のように流れ多田一帯が肥沃な土地となり「田田邑」(多田)となりました。滝山と言う地名も残っています。鼓ヶ滝の下流には「鶯の森」と言う優雅な地名があってこの淀みはかつて水泳場となっていました。さらに下ると「火打」と言う地名があります。昭和初期まで釣鐘の火文字が点けられていましたが、そのすぐ北東に「石切山」があります。江戸中期になって「火打石」があることが解り火打の住民がこれを採掘し猪名川を船で姫路まで運び、姫路城主「池田輝政」に販売を委託しました。織姫伝説の一つ「絹延橋」も最近架け替えられて立派になりましたが、中橋の上流には織姫が上陸したと伝えられる「唐船ヶ淵」があります。当時は海が大きく入り込んでいて淵となっていました。中橋の川下に昔から灌漑用の堰が造られていました。「池田井堰」と言います。この堰によって絹延橋から中橋の間は淀みとなって豊富な水の溜まりとなっていました。この辺りでは大正の初めから昭和16年頃まで「貸しボート屋」があって50隻ものボートが川面に浮かぶ憩いの水辺でした。当時「人取岩」「助け岩」と呼ばれて遊泳する人々が恐れた大きい石が今も残っています。最近さらに下流にサクラの植樹がされることが決まりましたが、昔呉服橋付近の堤に護岸のための棕の木が植えられて「権田堤」と呼ばれていました。

平成27年8月現在

区分	総務部会	福祉部会	教育文化部会	環境・防犯部会
室町 11人	上田 浩	山脇 裕彦	乾 禎則	今井 徹
	近谷 孝	深井 倫子	田村 順造	阿部 雅一
			森 太郎	相川 慎一
			大谷 敬亨	
桃園 5人	成田 淳一	竹本 道子	小栢 弘	岸 徳治
				岩中 雅子
姫室 8人	瀬島 康友	小澤 淳子	谷口 徹	干川 孝男
		東山 正子	廣居 時夫	
			木村 和資	
			伊勢 睦子	
呉服 11人	安田 禮子	大西喜久子	川原 昭宣	岡 平
	佐々木喜美	大隈 郁子		石川代志美
	中岡 嘉弘	平長 史子		西富 征子
		藤本 敦子		
満寿美 11人	須浦 克夫	西中 義弘	酒井 昭三	西本 秀一
	林 克彦	梅村 千晶	細見 清	片山 正義
	荒木 那彦		原田有紀子	和田 潔
宇保・八王寺 18人	富田 裕樹	鈴木 睦子	中野 正人	西田 啓輔
		尾田 悦子	今田 洋	青井 秀浩
		青井 奈緒	中野 春樹	岡田 芳浩
		大田 浩司		朝見 直
		国本 育代		角 樋 洋
		中路間美貴		
		松本千賀子		
		山口 麻紀		
	斉藤 晴美			
アルビス池田 2人			田中 範子	甲斐 勝美
計 66人	11人	20人	17人	18人

■ 部会長

■ 副部会長

ご意見・ご提案をお寄せ下さい

-----

-----

-----

-----

-----

-----

- くれは地域コミュニティ推進協議会 入会申込書
- くれは青パト隊パトロール 入隊申込書

ふりがな  
氏 名

電話 or 携帯

住 所

\* 「呉服会館」前 「くれはコミ協 専用ポスト」 にご投函下さい

----- きりとり -----

### 青パト隊って?

呉服小学校区「青パト隊」は社団法人室町会が平成19年2月、今井 徹さんが隊長となって池田市初の青色パトロールとして活動をスタートさせました。

地域の安全・安心は地域の住民で守り、犯罪のないまちづくりを理念として始めた町内会のパトロールが呉服小学校区全域に広がり、児童の登下校の安全見守りを主に犯罪の防止に務めています。この活動にくれは地域コミュニティ推進協議会も全面的に支援し、現在隊員は63名となっています。



発行責任者/会長 青井 秀 浩 編集委員長/中岡 嘉 弘